



ファースト・コラボレーション  
(高知県高知市)  
武樋泰臣社長(51)

今まで5人の子供が生まれ、2度目の産休・産休を取得して、仲介店舗の店長として復帰するという社員もいるという。

会社の戦力となる女性が辞めていったことに危機感をおぼえ、出産しても復帰できる体制を整えることにしました。社員が仕事をしやすいようにと考へ、社員のライフスタイルに合わせて、会社内の客に「親しみやすい」という声をもらうこと

女性が働きやすい職場環境をつくっているのが、ファースト・コラボレーション(高知県高知市)だ。社内では、「次は私が産む番よ!」という声飛び交っているというほど、産前産後休暇・育児休暇制度に力を入れているという。社員は20人、パートは11人。社員のうち9人が女性だ。制度が整備された2006年以来、特別な事情以外で退職した女性はいないという。

産休・育休を無理なく取り得させる方法として、結婚時に出産計画の打ち合わせをするのだという。それに合わせ、出店計画を企画する。その結果、社内

で出産計画を自由に話すことができるほど、出産に対してオープンな環境をつくることのできたという。

### 「次は私が産む番よ!」

#### 産休・育休取りやすい環境を整備

産休・育休制度をつくるようになったきっかけについて、武樋泰臣社長はこう話す。「結婚・出産を機に、

いくつかの理由から、復帰することのメリット

「今後は、介護休暇も整備していきます」  
(武樋社長)